

第
6
回

石橋湛山研究学会

2018年12月15日(土) 13時から17時30分

[第1部] 研究発表

13時15分から15時30分

松井慎一郎 (聖学院大学)
「有髪の僧」としての石橋湛山
— 日蓮仏教との関係 —

浅川保
(山梨平和ミュージアム・石橋湛山記念館)
明治150年に何を学び、
何を継承すべきか
— 司馬遼太郎と石橋湛山を素材として —

池尾愛子
(早稲田大学・立正大学石橋湛山研究センター)
石橋湛山とアメリカ人たち
— ジェローム・コーヘンとジョセフ・ドッジを中心に —

[参加費]

無料(どなたでもご参加いただけます)

[申し込み先]

石橋湛山研究学会事務局
電子メール tanzan@crocus.ocn.ne.jp
電話 03-3270-8070

[主催]

石橋湛山研究学会

[会場]

立正大学品川キャンパス9号館地下2階9B21教室
現在キャンパス内は工事のため、正門をご利用ください。

[第2部]

シンポジウム「石橋湛山と教育」

16時から17時30分

登壇者
鎌田薫 (早稲田大学前総長)

齊藤昇 (立正大学学長)

池田明史
(東洋英和女学院大学学長)

司会: 徳山喜雄 (立正大学)

■シンポジウムの概要■

今回のシンポジウムでは、言論や政治の舞台で活躍した石橋湛山の教育者としての側面に焦点を当て、石橋湛山と教育の関わりを登壇者とともに考えます。

